

# スピリーバ®レスピマツト® スピオルト®レスピマツト®の吸入方法

この指導箋は、スピリーバ®レスピマツト®あるいはスピオルト®レスピマツト®を吸入される患者様に対して、吸入方法を説明したものです。1枚ずつ切り取って、患者様にお渡しください。



長時間作用性吸入気管支拡張剤  
処方箋医薬品<sup>注)</sup>

薬価基準収載

## スピリーバ® 1.25 $\mu$ g・2.5 $\mu$ g レスピマツト® 60吸入

(チオトロピウム臭化物水和物製剤) 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること



COPD治療配合剤

薬価基準収載

## スピオルト® レスピマツト® 60吸入・28吸入

チオトロピウム臭化物水和物/オロダテロール塩酸塩製剤 **SPIOLTO®**  
処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること) **RESPIMAT®**

# スピリーバ®レスピマット® スピオルト®レスピマット®を吸入される患者様へ

## 毎日の吸入方法

〈吸入は1日1回 **2吸入** 行います。〉

写真は全てスピオルト®レスピマット®28吸入製剤のもので、全ての吸入器具レスピマット®において使用方法は同様です。

**Step 1 回す**



キャップを閉じた状態で**上向きにし**、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。

**Step 2 開ける**



キャップを完全に開け、息をゆっくり最後まで吐き出します。

**Step 3 ゆっくり吸う**



マウスピース (吸入口) をしっかり口にくわえ、息を口から**ゆっくり**と吸いながら、噴霧ボタンを押し、できるだけ**ゆっくり**肺いっぱい息を吸い込みます。  
苦しくならない程度、息を止めます。

キャップを閉じもう一度 **Step 1** ~ **Step 3** を繰り返します。  
吸入は1日1回 **2吸入** 行います。

## ！ 注意点

- 目盛りは透明ケースを180度回転させるごとに1噴霧分進むため、1回の噴霧時に180度を超えて回転させないようお願いいたします。
- 透明ケースを回転させる際、微量の薬液が噴霧されることがございます。必ずキャップを閉じた状態で透明ケースを回転させてください。
- マウスピース (吸入口) を口にくわえた際、通気孔をふさがないようにしてください。
- **レスピマット®の吸入時に薬が目に入らないように注意してください。**

## レスピマット®のお手入れについて

- 少なくとも週1回はマウスピースとその内側の金属部分を湿らせた布またはティッシュペーパーで拭いてください。金属部分は変色することがありますが、吸入用器具レスピマット®の性能には影響はありません。
- 本剤は金属・プラスチックでできていますので、地方自治体により定められた方法に従って廃棄処理してください。また、本剤を分解したり、カートリッジの底面に穴をあけないでください。



# 新しいレスピマツ®を使用開始するとき

**1** キャップを閉じた状態で、安全止めを押しながら、透明ケースをはがします。



**2** カートリッジを吸入用器具レスピマツ®にまっすぐ挿入します。



**3** カートリッジを奥まで挿入します。



上の方法で奥まで挿入できない場合は、かたい平面の上で挿入してください。



カートリッジは、2~3mm程度見えている状態で正常に挿入されています。

**4** 透明ケースを装着します。



**5** キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させます。



**6** キャップを完全に開けます。



**7** 下に向け噴霧ボタンを押し、吸入準備をします。



**8** ミスト(霧)が見えるまで**5~7**の操作を行った後、さらに3回操作を繰り返してください。

これで吸入準備は完了です。

テスト噴霧は、吸入可能な回数には含まれません。準備完了後、スピリーバ®1.25µg/2.5µgレスピマツ®60吸入及びスピオルト®レスピマツ®60吸入では30日(60噴霧)、スピオルト®レスピマツ®28吸入では14日(28噴霧)が可能です。

薬が目に入らないように注意してください。

## ⚠ 注意点

- カートリッジが奥まで挿入できなくなりますので、**カートリッジを挿入する前に透明ケースを回転させないよう**お願いいたします。透明ケースをカートリッジ挿入前に180度回転させてしまった場合は、噴霧ボタンを押して、元に戻した後にカートリッジを挿入ください。
- 一度挿入したカートリッジは、原則、抜かないでください。ただし、カートリッジがまっすぐでない場合、奥まで挿入できない可能性があります。その場合には、一度カートリッジを抜いていただき、再度まっすぐ挿入ください。
- 吸入用器具レスピマツ®を7日間以上使用しなかった場合は、下に向けて1回噴霧した後に使用してください。また、21日間以上使用しなかった場合は、ミスト(霧)が見えるまで**5~7**の吸入前に必要な準備を行った後、さらにミスト(霧)が見えてから**5~7**の操作を3回繰り返した後に使用してください。カートリッジを挿入して3か月以上経過した場合は、薬剤が残っていたとしても使用しないでください。
- 使用済みの吸入用器具レスピマツ®に新しいカートリッジを挿入しても、目盛りはリセットされません。吸入用器具レスピマツ®とカートリッジは必ずペアでお使いください。

▼ 患者さん向けのCOPDに関する情報提供を目的としたサイトです。

COPD-jp.com



提供: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

014790-B



製造販売元(輸入発売元)  
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
〒141-6017 東京都品川区大崎 2-1-1  
資料請求先:DIセンター

